

幼珠連通信

発行 全国幼児珠算教育連盟事務局
大阪府守口市大久保町5-7-9

のうだま

会長 井上 文克

『のうだま』上大岡トメ& 池谷裕二共著 2008年12月10日発行

幻冬舎 TEL03-5411-6222 ¥1200+税 発売即10万部突破!

脳はもともと飽きっぽい性質がある。だから、やる気を出すためには、脳をだませばいい!
「海馬」の池谷裕二の理論を「キッパリ!」の上大岡トメが完全図解! 子どもでも分かる脳科学の最前線、さっと読めるけど、この本は一生あなたの力になります。やる気のコツ=4つのスイッチを起動させれば、必ず誰でもやりたいことを「続ける」ことができます。その秘密は淡蒼球(たんそうきゅう)にあります。この淡蒼球は、脳の世界では自分の意志で動かさない無意識のところであり、常に活動しているが、直接動きをコントロールすることはできないけど、連動する4つのスイッチがあることをこの本は教えてくれています。

淡蒼球を活発に動かす。4つのスイッチ。スイッチB(Bodyカラダを動かす)カラダを動かすことで、入るスイッチ。●やる気がないときこそ、出かけてみる。

スイッチE(Experience いつもと違うことをする) ●いつもと違う場所に行ったり、違うことをすることで入るスイッチ。●脳は新しいこともすぐマンネリ化させるので、視線を変えてチョットでも違うことをしてみると効果的。気分転換を試みる。

スイッチR(Reward ごほうびを与える) ●キモチいいことで刺激される「テグメンタ」は強いパワーを持っていて、続けることの原動力となる。

スイッチI(Ideomotor なりきる) ●なりきることによって入るスイッチ。

●思いこみが強いほど、脳はだまされやすく、その気になる。

『のうだま』を即刻入手されて、やる気のコツを会得され、2009年三日坊主にサヨウナラ!をしようではありませんか。3月16日で87歳、今後ともよろしくお願ひします。

珠算検定受験者数が大幅に増加！

ここ数年、教育界・一般社会・教育行政においても、そろばん学習の評価が高まり、珠算教育が初等教育においても重要な役割を果たすことが認識されてきました。

文部科学省では本年度から小学3年生に加えて、小学4年生への算数科でのそろばん学習が行なわれることが決まり、珠算教育熱が高まりつつあります。

それにつれて、各珠算教室から受験する珠算検定試験(主催・日本商工会議所)の受験者数も各地とも、その受験者数が上昇しています。

当地域の守口門真商工会議所の珠算能力検定試験の受験者数は下記の通りです。同検定試験は2月、6月、10月と年三回施行されていますが、2月検定試験を受験者数の推移の状況です。平成16年2月の第170回と今年の2月の第185回検定を比較すると、実に40%以上の上昇率です。この数字は一般社会でのそろばん学習の評価の表われであり、日増しに、そろばん学習の重要性が高まりつつある表われです。

なお、第185回珠算能力検定試験は、2月8日(日)全国各地で一斉に実施されます。

日本商工会議所・日本珠算連盟・守口門真商工会議所

1. 2. 3級珠算検定試験受験者数推移(2月検定) 守口門真商工会議所

回数	年月	1級	2級	3級	合計
第170回	16. 2月	73名	98名	162名	333名
第173回	17. 2月	73名	102名	180名	355名
第176回	18. 2月	79名	112名	175名	366名
第179回	19. 2月	98名	139名	171名	408名
第182回	20. 2月	92名	157名	197名	446名
第185回	21. 2月	96名	167名	217名	480名

大阪山本速算会60周年記念小誌発行

1949年1月に初代山本恵一が創設した大阪山本速算会が今年1月、創立60周年を迎えることになりました。これもひとえに皆様の温かいご理解とご支援の賜であり、心からお礼申し上げます。当会は創設以来、大阪府下の教育団体として珠算教育の研鑽に努め、子ども達の数觀念の養成と計算力向上に努めて参りました。お陰をもちまして数多くの生徒達に恵まれ、幾多の優秀な人材を社会に送り出すことができました。当会の60年間の足跡を綴った記念小誌を発行し、生徒・保護者と共に60周年を祝うこととなりました。60年間のあゆみ・珠算競技大会の記録・日商珠算検定1級合格者名などを記録した小誌です。

なお、当会と関わりのあった方にも60周年記念小誌をご配布しますのでお申し出下さい。

大阪山本速算会会長 大西 信二

新春対談～すべては自然流で行こう！

日本書芸院参事 瀬戸 白鳳

- ・新年明けましておめでとうございます。
- ・おめでとう。ところで、真の書は形を真似て、書くのではなく、無理のない自然な筆運びから生まれるものだよ。
- ・先生、お言葉を返すようですが、形が定まらないと、書けないじゃないですか。
- ・そうだな、標準的な字形は意識の中に一瞬、浮かぶが、後は筆運びの妙味で、その結果、千変万化色々な表情の字、書が生まれてくるのだ。実に愉快的な、至福の空間だ。
- ・私のように、お手本を見ながら、書いている間は自然でリズムカルな筆運びは無理でしょう。なにせ、途切れ途切れの針仕事と言ったところでしょうか。
- ・その通りだ。いい所に気がついたな。何事も無理があってはいかん。下手力むとは昔からよく言われているじゃないかね。
- ・私などはどうすればいいんでしょうか。
- ・まずは、正しい、良い文字を書くにあたっての理論、ルールを心得ること。その上で、反復練習だ。良い字とは？の選別眼も養わないと始まらない。もう一步踏み込めば、構成する線に表情が要るんだ。表情については各人のセンスの問題だが、これを磨くには、常に美しい事象に感動することから始まるだろう。
- ・なかなか奥深く、私には遠い道のりのようですが、頑張っ、励みますのでよろしくご指導下さい。
- ・そうだな。字を書く以前の問題として、姿勢、執筆が大変大切なことだ。「道」のつくものには、共通して言えることだかな。茶道、華道、弓道、柔道等々、全てに無駄を省いた結果の美の表現だと思う。茶華道における所作の美しさ。弓道、柔道における技の的確さは一連の技の合理性から生まれるのではないかと思う。弓道における構える姿勢とそれに伴う弓を握る左手の握り具合と矢を持つ右手の手心が最高に無理なく合致した時、放たれた矢は的的中するそうだ。書の場合も同じだ。背筋を伸ばし、腰骨をはり、筆を持つ右手は掌に多少の空間をもうけ、五指は夫々に役目を果たす。特に薬指の効用は重要で、次に人差し指、他は補助的な役割を果たす。弓道で言う手心かな。一連の動作が出来た上で、初めて真の字、書が書けるのだ。
- ・目先のことばかりに気を取られて、基本的なことを忘れていました。今年はお言葉通り、基本を大切に、手本から出来るだけ早くはなれて、自然流で頑張りたいと思います。本日は有り難うございました。

はじき初め大会事業に参画して

事務局長 大西 信二

そろばん教育が一般社会から日増しに評価を受けている傾向にあり、私ども珠算教育にたずさわっている者にとっては大変喜ばしいことである。

それを一つの形にする方法として、毎年1月3日に大阪府珠算教育連合会が実施している「そろばんはじき初め」を一般の企業が参画していただくように、そのパンフレットの発行を計画しました。

昨年7月初旬にその委員会(各協会から6名)を結成、はじき初め大会に着用する法被(ハッピ)1千着の代金を捻出することを考慮し、協賛の1マスを5千円と価格を決め、はじき初め大会当日に配るパンフレットの見本作りから始めた。B5サイズで、内容は「大会次第」「実施方法」「会場見取図」「大会代表挨拶」「祝辞」「天満宮の歴史」「そろばん学習の効用」「大会委員一覧表」に続き、協賛団体・協賛者名簿のマスを130箇所として16頁の見本パンフを作成し、発行部数は2500冊と計画する。

そのパンフの格調を高めるために、協賛のトップには大阪府下の各商工会議所を依頼することとし、まず大阪府連の14団体へ各団体の協賛6マス目の依頼状を郵送する。また、協賛マスを埋めるために、各教室の出入り業者や取引業者に協賛を要請する。特に日頃、交流している保険会社・税理士・教材店などは協力的に協賛をしていただく。さらに準備委員会としても、はじき初めを大きく盛り上げるために会場の天満宮周辺の商店街にはじき初めの法被を着て廻り、その協賛を依頼した。初めての企業へPRは、珠算教育のイベントとして高く評価をうけ、改めて広報することの大切さを身をもって感じた。

お陰で、目標としていた協賛130マスが満席となり、11月下旬にはその原稿を印刷所へ回すことになり、12月初旬に中国から届くはじき初め法被(今年は緑色)代金を捻出することができた。

12月中旬には、協賛企業・協賛者へ「パンフと新しい法被」と礼状を添えて発送した。協賛企業にとっては、パンフには「自社の企業名」と「そろばんの効用」も記載しており、協賛者にそろばん教育の理解も深めていただけるものと期待し、感謝する。

そのパンフ2000冊は1月3日のはじき初め大会の当日、天満宮に列をつくる参加者の生徒の保護者や一般参拝者に配布、そろばんはじき初めの意義など、そろばん学習のPRになったことと思う。特に、はじき初め参加のため順番待ちの列が100名にも達し、順番を待つ保護者の方に見ていただくには、このパンフが有効であったと思われる。

新春奉納はじき初めは、10時開始、12時終了と時間が限られていることもあり、11時30分頃には参加人員を制限するほどの盛況で、天満宮境内は法被の緑色一色となり、1000名の生徒で盛り上がり、参加の生徒は珠算技能・勉学^{はっぴ}の向上などを神前に祈願して、今年一年が新しい飛躍の良い年になるよう祈った。

暗算指導法を「日本珠算」に発表！

日本珠算連盟の機関誌「日本珠算」610号(平成21年1月1日発行)に「かけ暗算指導法」を発表しました。

その内容は、「あんざんBible」の乗暗算を紹介したものです。

2桁×1桁の暗算かけ算から、3桁×1桁、2桁×2桁、3桁×2桁、3桁×3桁、4桁×2桁のかけ暗算の問題をそろばん珠の写像を浮かべて計算する方法を説明した内容です。指導上の注意点を添えて、どの生徒もかけ暗算ができるように説明したものです。

また、同次号611号(平成21年3月)には、わり暗算指導法を掲載予定となっています。その内容も「あんざんBible」の除暗算を紹介したもので、 $\div 1$ 桁=2桁の問題から $\div 1$ 桁=3桁、 $\div 2$ 桁=2桁、 $\div 2$ 桁=3桁、 $\div 2$ 桁=4桁、 $\div 3$ 桁=2桁、 $\div 3$ 桁=3桁、 $\div 4$ 桁=2桁のわり暗算を写像で計算する方法です。

いずれも、暗算の初歩から、段位暗算までの指導上のポイントを添えた指導方法です。

「あんざんBible」のかけ暗算・わり暗算は、当連盟から発行しました「乗暗算・除暗算指導書」の一部を生徒用として編集したものです。

さらに、同613号(平成21年5月)・614号(平成21年7月)には、みとり暗算の指導法を掲載予定です。613号では1桁の3口問題から3桁4口までの問題を写像を浮かべて指導する暗算検定4級までの基礎学習編です。また同614号では3桁5口の問題から6桁10口までの問題を指導する内容です。暗算3級から段位指導の中級・上級編です。

みとり暗算の問題も「あんざんBible」の見取暗算を紹介したもので、「見取暗算指導書」の一部を生徒用として編集したものです。

全国の珠算教室で、暗算指導をされていない先生方が20%もあることを聞き、その指導者に参考になればと思い掲載させていただきました。

全国各地のどの珠算教室においても「あんざん指導」を行なわれることが、珠算教育界の評価につながると思います。

なお、「あんざんBible」は各教室で、暗算の進級時に指導者が説明用として編集したもので、「乗暗算・除暗算編」・「見取暗算編」ともB5判で16頁です。価格は各1冊200円です。指導上不明な点がございましたら、当連盟までお問い合わせください。

返信はがきのお願い

当幼珠連通信は年6回隔月の15日に発行していますが、発行号が重ねますと、その発行部数がかかりの数に増えていきます。この通信のご活用についてご意見をいただきたく同封の返信はがきをご返信くださいますようお願いいたします。返信のある方のみ送付します。

なお、幼珠連通信は今後もURL:<http://www.osakasyuzankenkyusyo.com>のネットにも掲載します。

(幼珠連事務局)

珠 眩

しゅげん ー 64 ー

生徒への気づかいを心がけましょう。

東京都のある区の小学校で道徳の時間で「江戸しぐさ」を教材として取り上げられていると聞きます。伝統を生かした文化国家の良さを感じられます。

「江戸しぐさ」とは、東京が江戸と呼ばれていた当時もすでに世界でも有数の人口密集都市だった江戸の庶民たちの公衆マナーです。

その内容は、一例として、雨の日の狭い道などでは傘をさした人同士がすれちがった時は、お互いの傘を外側に傾けるという「傘かしげ」のマナーです。また、集合船で後から乗ってくる人のために、こぶし一つ分を腰を浮かせて席をつくる「こぶし腰浮かせ」のマナーなどです。

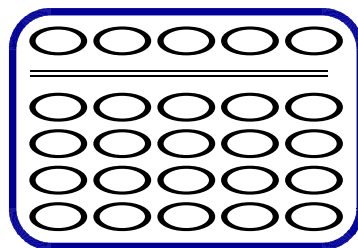
さらに、自分が過ちをしたときには、素直に認めて詫げる「うかつしぐさ」や、断り無く家に押しかけて、相手の時間をかってに使うことを戒めた「時泥棒」など、人が気持ちよく暮らしていくために生み出した知恵ばかりです。こういう気づかいは、押しつけがましくなく、さらりとしていて、また、そのネーミングも「傘かしげ」「こぶし腰浮かせ」と、何か粋さを感じます。

私たちの教室においても、生徒が気持ちよく通塾できるように、教室としても、また、生徒同士の交流にも配慮することも大切ではないでしょうか。

教室としては、明るく、換気にも、清潔感を漂うよう清掃にも留意し、また、お知らせ等のポスターも見やすいように、その位置にも、また、その内容にも考慮することが、生徒への気づかひとなりましょう。また、自転車で通塾する生徒の駐輪場を確保することも必要であり、また、出入りがしやすいように後輪から駐輪させる工夫なども要します。さらに、生徒へのしつけ指導として、友だち同士が譲り合いの心を育てることも必要です。そのために、たとえば、駐輪する自転車の位置のマナー・雨の日の傘の傘立てへのマナー・靴箱への靴入れのマナー・授業前後の行列による前の生徒と一歩の間隔を空けるマナー・行列への入り込まないマナー・トイレの利用するマナーなど、など、他の生徒への気づかひをしつけて習慣づけることが大切です。

そろばん教室に通う生徒は、そのマナーが身につく、自然と他の生徒への気配りの出来る子供に育っていくことでしょう。そろばん教室が計算力・暗算力を高めると共に、生徒の躰教育にも成果をあげれば、世間から一段とその評価を受けることとなりましょう。世間一般では、マナーの欠如が叫ばれている今こそ、他人への気遣うマナーを身につけることが必要です。

「暗算指導」 - 7



⑦ 3桁のかけ暗算(法3桁実2桁)

1. 指導の第一歩：かけ暗算は問題を布数せずに問題を見ながら乗じて加算する。

計算の順序を「あんさんカード」の上でしっかりと理解し、珠の写像をイメージして計算する。また、常に1の位に指つけを励行させて、正確に加算する。

すなわち、計算する順序を覚えながら、「あんさんカード」の上で指をついて加算し、珠のイメージを確かめて、積(答え)を書くように練習する。

2. 指導の第二歩：「実2桁×法3桁」の問題をまず、部分書きを理解する。

④の段階で2を書いて写像を消し、⑤の段階で7を書いて写像を消し、⑥の段階で945を書き、答え27945を求める。

例題	$45 \times 621 = 24$	①	24
	が8	②	248
	が4	③	2484
	24	④	<u>2784</u>
	10	⑤	<u>2794</u>
	が5	⑥	<u>27945</u>

理解したら部分書きをできるだけ少なくする。(まず、⑤での7を部分書き省略)

3. 指導の第三歩：3度の部分書きを2度に減らし、更に一度書きへと進めること。

また、法、実の間に0のある問題には指つきを励行して、桁で間違えないよう指導。

4. 指導の第四歩：「実3桁×法3桁」の段位問題では、最初は部分書きから

練習し、その問題に慣れてきたら(算が固まってきたら)、一度書きへと移行。

しかし、暗算力の幅のある生徒には、最初から一度書きで練習するとよい。

いずれにしても、計算スピードを上げるには一度書きで計算するように指導する。

例題の「部分書き」の方法(法実あわせ6桁<3桁×3桁>の問題 (以下はA法))

計算の④の段階で頭数2を書き写像から消し、⑦の段階で次数8を書き写像から消し、⑨の段階で写像の6902を書き、答え286902を求める。

例題	$462 \times 621 = 24$	①	24
	が8	②	248
	が4	③	2484
	36	④	<u>2844</u>
	12	⑤	<u>2856</u>
	が6	⑥	<u>28566</u>
	12	⑦	<u>28686</u>
	が4	⑧	<u>28690</u>
	が2	⑨	<u>286902</u>

4桁以上の珠が定まらない方は答の部分書きをして答を求めますが、練習を繰り返すと、やがて、4桁以上の珠のイメージが定まるようになります。部分書きを少なくして、一度書きに近づける。

答えの部分書きをできるだけ少なくする。

2009年度全日本ユース珠算選手権大会

時：4月19日(日)正午開会 午後4時閉会予定

所：立命館小学校 体育館 京都市北区小山西上総町22

京都市地下鉄「北大路駅」下車3分

参加申込：3月23日(月)～3月28日(土)

但し、申込順で受付、参加申込以前の分は受け付けません。

定員200名で×切りです。

参加資格：①アンダー10(4月1日現在の満年齢が10歳以下)

②アンダー12(4月1日現在の満年齢が12歳以下)

③アンダー15(4月1日現在の満年齢が15歳以下)

参加費：1名2500円(郵便振込「00990-6-172644 星の郷総合教室」)

問題程度：(総合競技・種目別競技とも個人競技で、問題は整数のみ)

かけ算 5桁×5桁 30題 5分

わり算 ÷5桁=5桁 30題 5分

みとり算 6桁15口 15題 5分(加算9題、加減算6題)

かけ暗算 3桁×2桁 3桁×3桁 4桁×3桁 各10題 2分

わり暗算 ÷2桁=3桁 ÷2桁=3桁 ÷2桁=3桁 各10題 2分

みとり暗算 3桁10口・15口・20口(加算9題、加減算6題)各5題2分

※ 詳細は次号でご案内します。(大会要項決定次第ホームページに掲載)

そろばん煎餅のご案内

大阪府珠算教育連合会では、そろばんはじき初め大会の参加者に「そろばん煎餅」を参加賞として配布しましたところ、大変好評をいただきました。

その「そろばん煎餅」は大阪天満宮に隣接の「ねぼけ堂」で特別に焼いていただいたもので大変美味しい煎餅です。数百年の伝統を誇る「ねぼけ堂」の煎餅は大阪の名物の一つにも数えられているもので、「そろばん煎餅」の焼き印をいれた卵入りの煎餅です。

その煎餅を各教室や各協会での催し物の記念品として、活用できるものと考えまして、「ねぼけ堂」との取り決めて行ないましたので、ご希望者は、当連盟事務局(FAX06-6902-1022)へ申込下さい。

「そろばん煎餅」 1. 化粧箱入り(2枚入り1包×8包 価格：1箱700円
(30箱以上は、送料サービス)

2. バラ(2枚入り1包み) 価格：1包 50円
(400包以上は、送料サービス)

代金送金先・近畿珠算団体連合会 郵便振込00990-6-73077
大阪市中央区本町橋2-8(大阪珠算協会内)

注文申込・FAX申込：06-6902-1022

納品は申込後、約1ヶ月
